



ときめきの富士

光 響

12月 夜明け 本栖湖より

冬至が近づくと、富士山の北北西に位置するこの小さな湖に人が集まる。

冬の太陽は北半球から見て最も遠くなり、日本の東南東の角度から朝日が射し始める。丁度太陽、富士山、自分というラインが執れるから、逆光の劇的な夜明けの写真を狙う人たちがごった返す。

そして幸運にも峰の白雪の左から光が放射される、御来光と富士山の写真が撮れば来年の年賀状に間に合うという寸法だ。

そのピークは冬至の朝であるが、12月の初めからいい夜明を見る条件は整い始めている。

12月の9日の朝だった。燃える様な朝焼けが終り暫くしてから二焼けが来た。龍が走る様な雲を金に染め、その輝きは湖の色を同調させた。いつも逆さ富士は上と姿が異なる。5,000円札と1,000円札に描かれた有名な湖、今朝も心に希望の光をとす荘厳な彩りだった。

ときめきの富士

ロッキー田中さんの

「ときめきの富士」ご紹介にあたって

富士山の呼ぶ声を聞いて、誰も見たことのない「ときめきの富士」を世の中に紹介し続けているロッキー田中さん。

ぶんぶん通信27号の対談コーナーにご出演頂いたご縁から、その素晴らしい作品の数々をこの誌面でご紹介頂いております。多くの雑誌で「幸福を呼ぶ富士山」として紹介されている「癒しロッキー田中さんの「ときめきの富士」」。誌面から溢れる「癒しの波動」を、心身の健康にお役立て頂けましたら幸いです。



ロッキー田中 プロフィール

9月6日、福井県生まれ。東京都品川区に「ときめきの富士アートサロン」を開設。心豊かな人々が集う現代富士山名所となっている。富士山の呼ぶ声を聞き、誰も見た事のない「ときめきの富士」を生涯に99枚世に出し歴史に残す事に夢を託す富士山の写真家。幻想、叙情に溢れた独特の情景描写は「プレジデント」「フォーブス」「致知」「日本の美 富士」に特集され、現代に蘇った北斎と言われている。
作品「天空に舞う」で文部科学大臣賞。NPO富士山を世界遺産にする国民会議フェロー。

現代の葛飾北斎

ロッキー田中さんの「ときめきの富士」

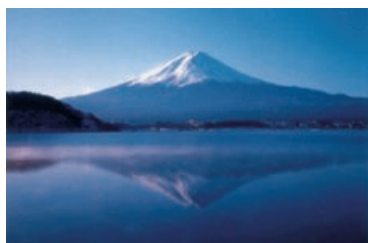
多くの雑誌で「幸福を呼ぶ富士山」として紹介されているロッキー田中さんの「ときめきの富士」は、いつもの空間を、より快適な癒しの場へと導いてくれます。

「ときめきの富士アートサロン」ではロッキー田中さんの各種作品の販売をご案内しております。詳しい資料をご希望の方には作品を掲載したパンフレットをお届けいたしますので、お気軽に「ときめきの富士アートサロン」までお問い合わせください。
(お問い合わせの際は「ぶんぶん通信を見た」とお申し添えください。)

「幸運を呼ぶ富士山」として話題を呼んでいるロッキー田中さんの作品です。



「いのち無限」



「湖映雪姿」



「輝きの世界へ」



「星降る夜に」

作品を紹介したパンフレットをご希望の方は
下記お問い合わせ先までお申し込みください

お申し込み・お問い合わせ先

ときめきの富士アートサロン

● TEL/03-5740-6921 ● FAX/03-5740-6922

● ホームページアドレス <http://www.rocky-fuji.com>
● メールアドレス tokimeki@rocky-fuji.com